

---

愚狂 ~ She gets to an unknown world suddenly...

アンパーフェクト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方幻想狂 } She gets to an unkno  
wn world suddenly...

### 【Nコード】

N4361Z

### 【作者名】

アンパーフェクト

### 【あらすじ】

学校へ登校する道中で幻想郷に迷い込んだ少女。一人の少女の楽しいのしい狂ったお話です。

すべてのはじまり

↳

The start of all things

ガラスは白く曇り、吐く息が白く変化し、地面には薄い氷が貼る。人々はこの現象から「冬」を連想するだろう。

太陽からの恩恵が最も少なくなるこの時期は、気温が下がる故、先ほど挙げた現象がほぼ毎日のように起こる。

「寒っ……」

そんな冬の北風に体の芯まで冷やされた少女がいた。

紺のブレザーとチェック柄のスカートを見に纏っている。どうやら彼女は学生のようなのだ。

その証拠に胸には花を抽象化した校章のようなものが刺繍がされている。

彼女が吐く息も例外なく白くなり、一時的に彼女の視界を阻害する。地面には霜が降っていて非常に滑りやすくなっていそうだ。

「……」

無言で歩みを進める彼女が歩いているのは、歩道の上である。すぐ横が車道になっている。

しかし全く車が通過する様子も、そして素ぶりもない。歩道に至っても同様である。

この歩道を歩いているのは、彼女一人だけである。

そのうち歩いていると、十字路に差し掛かった。

正方形を描くように存在する4つの白い横断歩道があり、その根元に信号機が存在している。

信号機を支える柱の側面には黄色い小箱のようなものがある。この黄色い小箱にある丸いボタンを押すと一定時間後に横断歩道を渡ることができる。

彼女は、歩いてきた方向に並行な方向の横断歩道を渡るべくそのボ

タンを押そうとした。

「?!」

その時、彼女はある異変に気がついた。信号機が何も点灯していないのである。

普通信号機は車用に赤、青、黄の三色のうちどれか、また歩行者用に青または青の信号が点灯しているのだが、今彼女がいる交差点、信号機は全くの無点灯である。

「停電…?」

停電であれば説明がつく。単純に信号機もまた電気を使っているからである。

彼女はとりあえず停電が起きているのか確かめるためにスカートのポケットから携帯を取り出して開いた。

そこで彼女はまた驚くことになった。

上部のステータスバーのアンテナマークが0、つまり圏外なのである。

「?!…何で?!」

思わず心の音が出してしまう。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4361z/>

---

東方幻想狂 ~ She gets to an unknown world suddenly...

2011年12月15日00時25分発行